

KOSÉ Sustainability Plan

美しい知恵 人へ、地球へ。



株式会社コーセー

2020年4月

KOSÉ Sustainability Plan

1946年、コーセー創業者の小林孝三郎は、
人々に夢と希望を与える「化粧品」に限りない情熱を込めて事業を開始しました。

私たちは、「英知と感性を融合し、独自の美しい価値と文化を創造する」ことを存在理念とし、
他にはない価値づくりを先んじて行う「美の創造企業」として、現在まで着実に成長を続けてきました。

その成長は、共に生きて支え合う多くの人々、
そしてそれを支える偉大な地球環境の恩恵があってこそ実現できたものです。

現在、グローバリゼーションや人口構造の変化、人々の在り方やニーズの多様化、
気候変動による温暖化、天然資源の枯渇など、私たちを取り巻く社会環境は大きく変容しつつあります。

よりよい未来を見据えた、新たな価値づくりの視点から、持続可能な社会の実現を目指し、
今まで以上に私たちの英知と感性を活かしていく必要があると考えます。

コーセーグループでは、人々や地球環境の未来をよりよいものとするための「コーセー サステナビリティ プラン」を策定し、
グローバル社会の一員としての責任をしっかりと果たしながら、
世界で存在感のある、信頼される企業となることを目指します。

サステナビリティ指針

1991年から発信を続けているコーポレートメッセージ「美しい知恵 人へ、地球へ。」を
私たちが持続可能な社会に向けた活動を進めるための「サステナビリティ指針」としても発信していきます。

美しい知恵 人へ、地球へ。

私たちコーセーは、英知と感性、技術と心をもって、
“美しい知恵”で新しい価値を提供してきた、美の創造企業です。

いま、私たちが叶えたいのは、
誰もが自信と活力にあふれ、自分とまわりを認め合える未来。
そして、誰もが安心して暮らせる、すこやかな地球の未来。

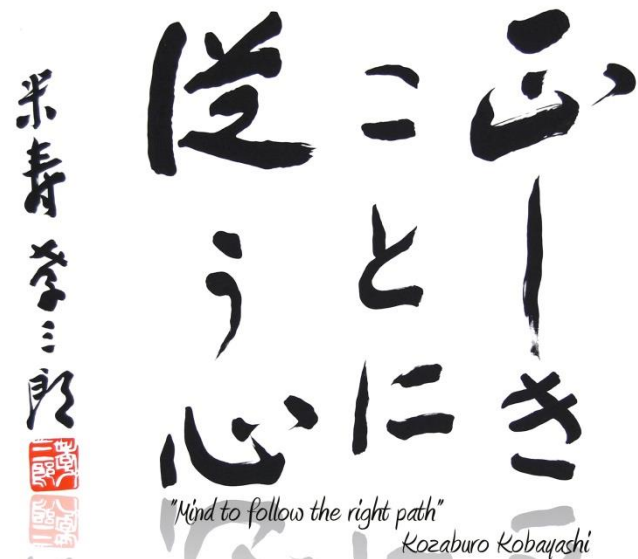
その未来を実現するために、
私たちの“美しい知恵”を尽くして貢献することを誓います。

ビューティは、きっと世界を変えられる。
The power of beauty can change the world.

私たちは、美のもつ力を、誰よりも信じています。

基盤となるポリシー

「正しきことに従う心」は、コーセー創業者である小林孝三郎の座右の銘でした。
この言葉は、創業以来の企業精神の根幹であり、コーセーグループで働く全員が守るべき「行動憲章」として掲げていますが、「コーセー サステナビリティ プラン」における「基盤となるポリシー」と決めました。



正しきことに従う心

正しきことに従うためには

勇気がいります

忍耐がいります

知恵と努力が必要です

柔軟な心と素直さが必要です

今でも 一歩でも近づきたいと

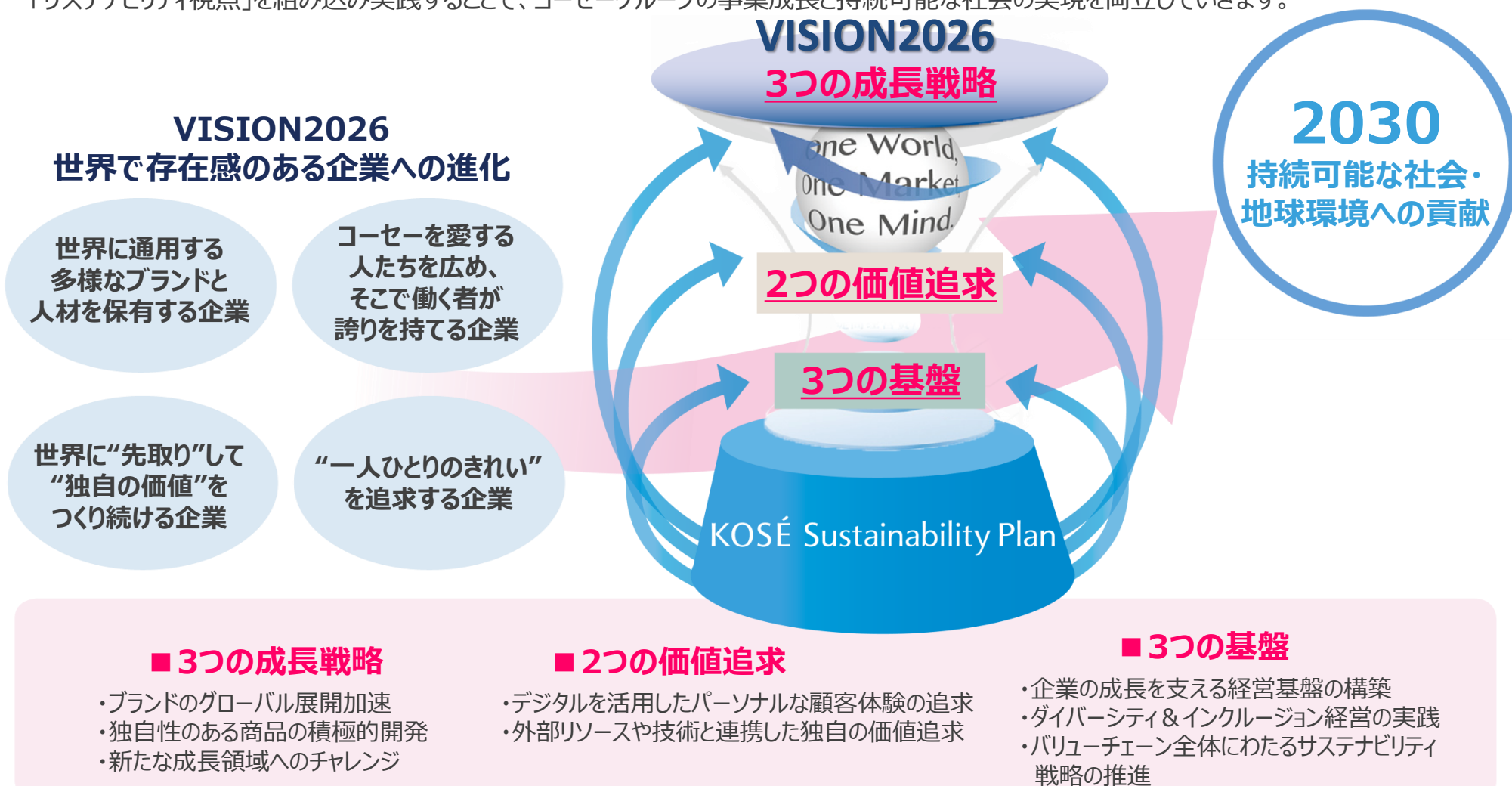
自分の心に言い聞かせている

毎日であります

コーセー創業者 小林孝三郎

VISION2026との関わり

「コーセー サステナビリティ プラン」の策定とともに、コーセーグループの中長期ビジョン「VISION2026」における「3つの基盤」戦略のひとつとして「バリューチェーン全体にわたるサステナビリティ戦略の推進」を設定しました。「VISION2026」達成に向けたあらゆる活動において「サステナビリティ視点」を組み込み実践することで、コーセーグループの事業成長と持続可能な社会の実現を両立していきます。



「コーセー サステナビリティ プラン」策定・推進のための手順

コーセーグループが取り組むべき重要課題の特定、取り組みテーマの設定・承認・推進を行うために、以下の手順や方法で進めました。

1. 社会・環境課題の 確認

【コーセーグループが取り組むべき課題の確認】

以下の内容を参考にしながら、コーセーグループが取り組むべき課題を抽出しました。

- ・ISO26000
- ・GRIスタンダード
- ・国連グローバル・コンパクト
- ・国連 持続可能な開発目標（SDGs）（17の目標と169のターゲット）
- ・世界情勢・社会情勢（外部評価機関項目、お客様相談室に寄せられた消費者からの声、NPO・NGO団体との対話）
- ・社内サステナビリティ推進委員会内での意見（計33部門・事業会社）
- ・同業種・他業種のマテリアリティ

2. 取り組みテーマの 作成

【取り組み項目の設定】

1で抽出した課題から、「社会（お客さま、取引先、サプライヤー、従業員、株主、地域社会、国際社会、NPO・NGOなど）からの関心度」と「コーセーグループでの重要度と関連度」の2つの軸で評価を行いました。その後、コーセーのサステナビリティ指針である「美しい知恵 人へ、地球へ。」に沿って、「人や社会に関わる項目」と「地球環境に関わる項目」の2つに大別した後、重要な6つの取り組みテーマを選定しました。また、基盤となるポリシー「正しきことに従う心」に沿って、6つの遵守すべき項目も特定しています。

3. 承認

【トップコミットメント】

取締役会およびサステナビリティ委員会にミッション策定の流れと取り組みテーマ、それを達成するための目標を報告して、承認を受けました。

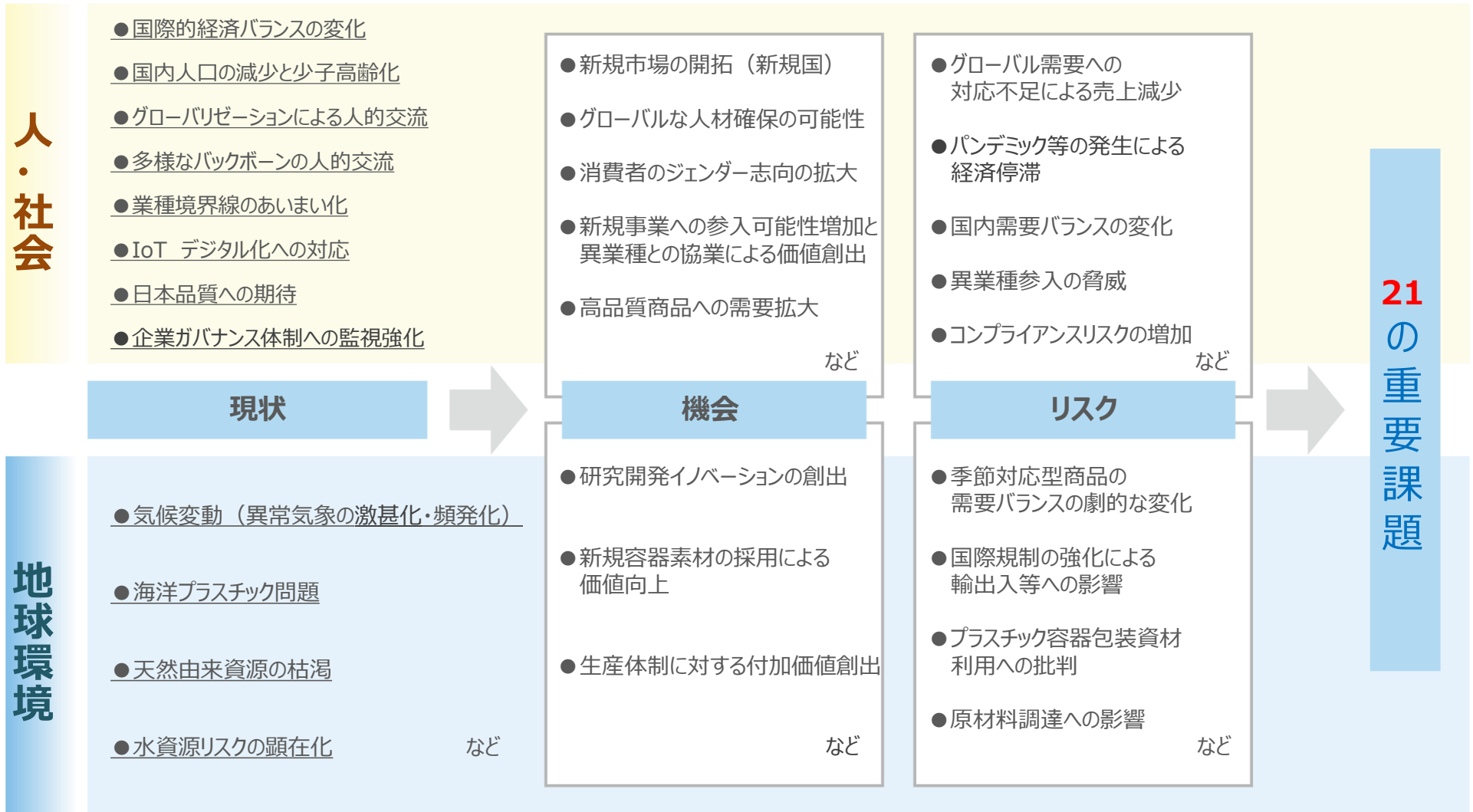
4. 進捗確認と 見直し体制

【進捗確認と見直し体制】

サステナビリティ委員会が監督する、グループ横断組織であるサステナビリティ推進委員会において定期的な進捗状況を確認し、また取り組み自体についても定期的に見直します。

コーセーグループを取り巻く社会や環境の変化・課題と重要課題（マテリアリティ）の特定

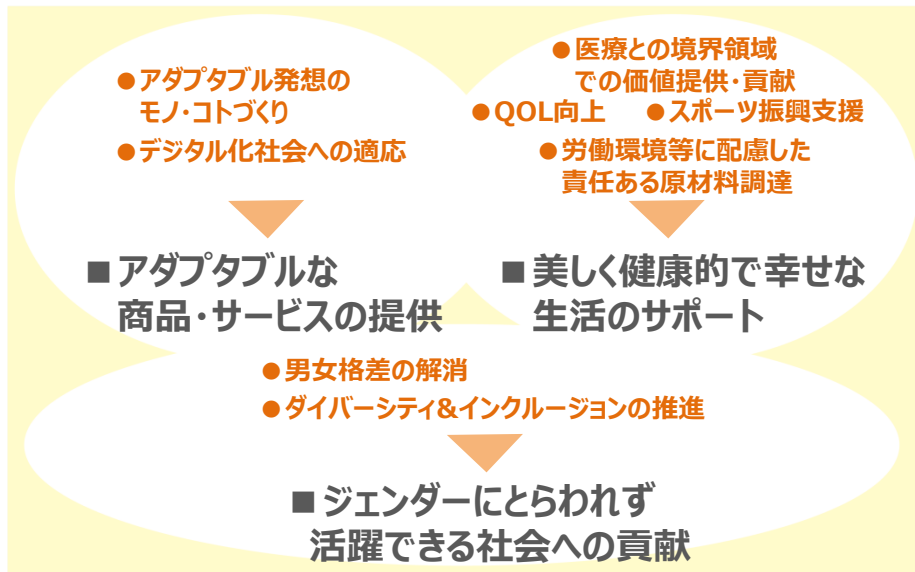
コーセーグループを取り巻く社会や環境の変化・課題と、関連する機会・リスクを抽出後、21の重要課題（マテリアリティ）を特定しました。



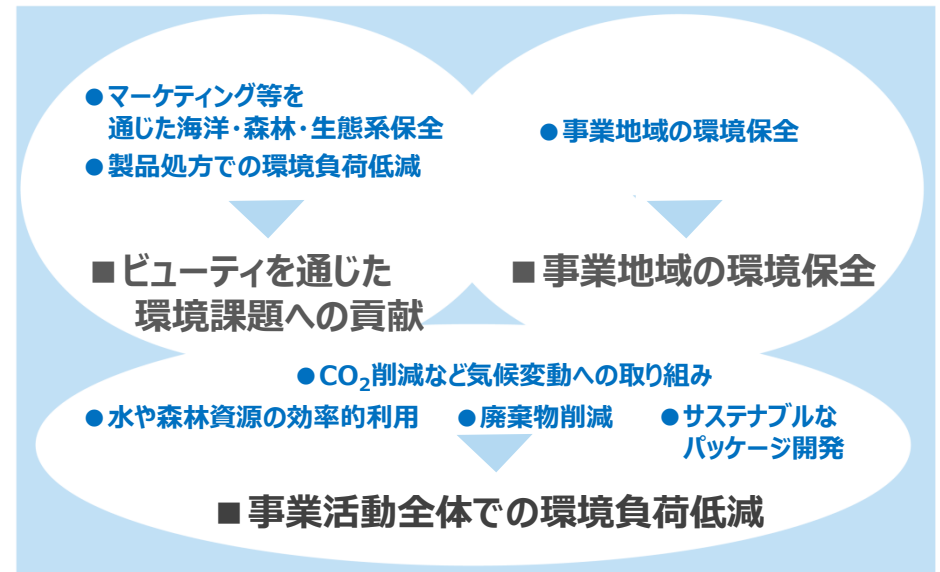
重要課題（マテリアリティ）とテーマ設定

21の重要課題（マテリアリティ）をサステナビリティ指針と基盤となるポリシーに照らし合わせ、「社会・人に関連＝人へ」「環境に関連＝地球へ」「企業基盤に関連＝正しきことに従う心」に分類したのち、「6つの取り組みテーマ」と「6つの遵守すべき項目」として設定しました。

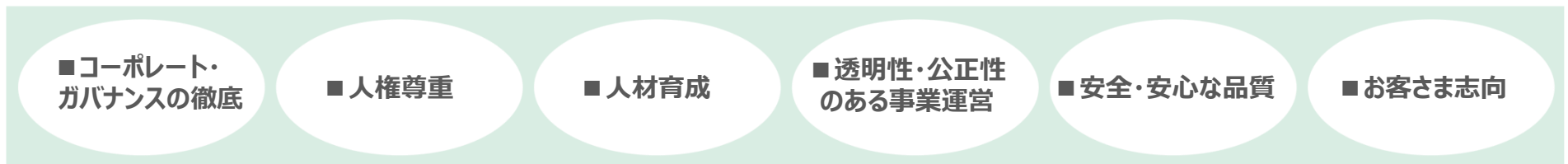
取り組みテーマ（人へ）



取り組みテーマ（地球へ）



遵守すべき項目（正しきことに従う心）



KOSÉ Sustainability Plan

サステナビリティ指針

美しい知恵 人へ、地球へ。

人へ

取り組みテーマ

地球へ

■ アダプタブルな商品・サービスの提供

■ 美しく健康的で幸せな生活のサポート

■ ジェンダーにとらわれず活躍できる
社会への貢献

■ ビューティを通じた環境課題への貢献

■ 事業地域の環境保全

■ 事業活動全体での環境負荷低減

基盤となるポリシー

正しきことに従う心

遵守すべき項目

■ コーポレート・ガバナンスの徹底

■ 人権尊重

■ 人材育成

■ 透明性・公正性のある
事業運営

■ 安全・安心な品質

■ お客さま志向

取り組みテーマの中長期目標とSDGsとの連動（人へ）
















コーセーグループは、2017年7月に「国連グローバル・コンパクト」に署名しました。

国連が定めたSDGs（持続可能な開発目標）の考え方にも賛同し、グループ全体で達成に貢献していきます。









取り組みテーマ	コミットメント	指標	目標値	達成年	具体的方策例	貢献するSDGs目標	
人へ	アダプタブルな商品・サービスの提供	肌の色、ジェンダー、社会的・文化的・地理的背景、生活環境、宗教や信条、身体的特徴など、多様なバックボーンを持つ人々が、自信を持って美しく生きる社会に貢献します。	アダプタブル発想での商品・サービス提供率	100%	2030	<ul style="list-style-type: none"> 多様な肌色・肌質に沿った商品設計 ユニバーサルデザインを採用 デジタルを利用したアクセシビリティの向上 多様性に応えるビューティテクニクの開発 	
	美しく健康的で幸せな生活のサポート	QOL（生活の質）の向上や、次世代への教育啓発活動、フェアトレードなどサプライチェーンを含む労働環境の向上など、誰もが健康的で幸せな生活を送れるよう、社会的課題に積極的に取り組みます。	具体的な取り組み実現	30件以上	2030	<ul style="list-style-type: none"> 技術開発イノベーション 健康経営による従業員の健康向上 スポーツ振興支援での健康啓発 次世代への健康教育と啓発（紫外線防御・保湿） 	
			責任あるパーム油の調達	100%	2030	<ul style="list-style-type: none"> 認証パーム油の調達と使用 調達先との人権側面での協働（児童労働などのない調達） 	
	ジェンダーにとらわれず活躍できる社会への貢献	社内・社外を問わず、日本はもちろん、世界のジェンダーギャップが解消されるための取り組みと、啓発活動を行います。	ジェンダー平等の啓発	10万人以上	2030	<ul style="list-style-type: none"> 社内ダイバーシティ&インクルージョンの推進 ジェンダーギャップに関する教育啓発への取り組み 女子教育支援への取り組み 	

テーマの中長期目標とSDGsとの連動（地球へ）

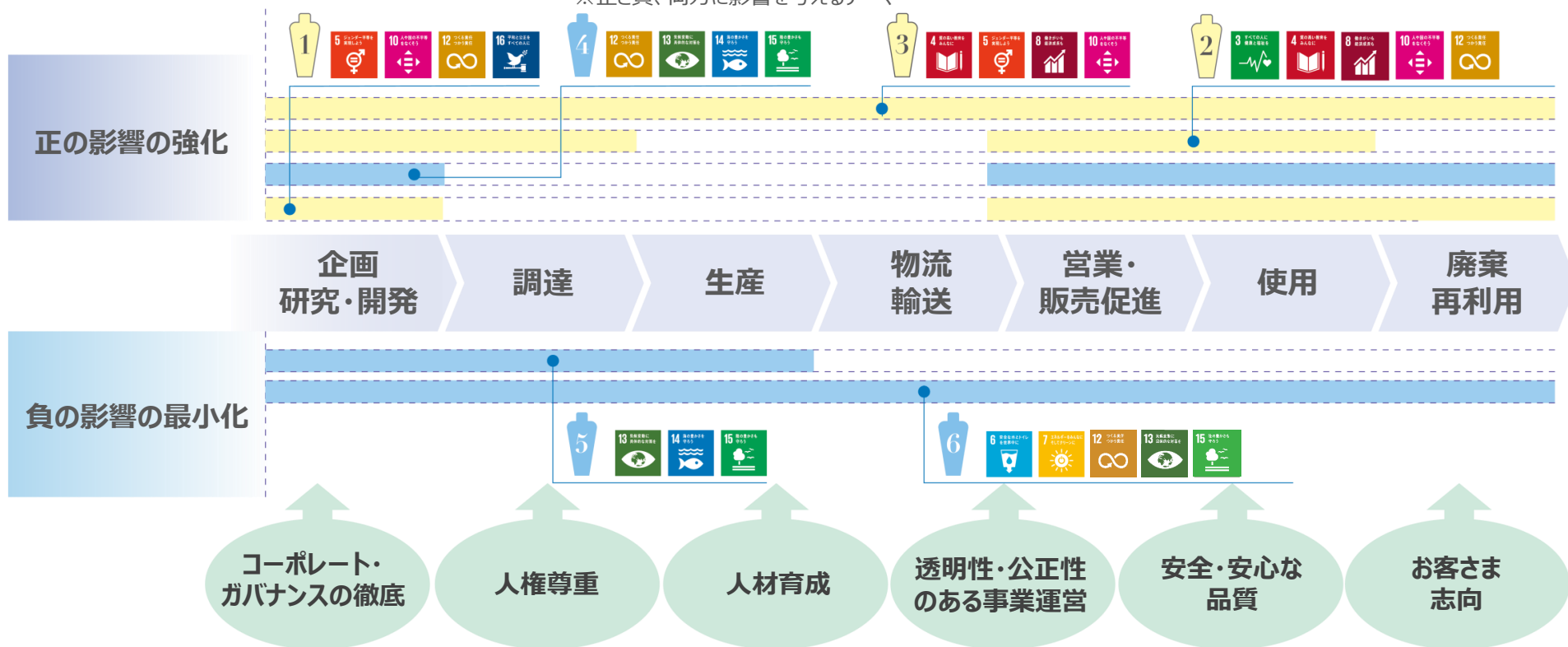
取り組みテーマ	コミットメント	指標	目標値	達成年	具体的方策例	貢献するSDGs目標
ビューティを通じた環境課題への貢献	ビューティを基軸としながら、環境課題解決への取り組みを促進します。また、その取り組みを世の中に広く伝え、多くの生活者に環境課題への気づきを与え、ビューティを通じて課題解決の輪を広げます。	植サンゴ面積	20,000m ² 25m公認プール面積約53倍	2030	<ul style="list-style-type: none"> 雪肌精「SAVE the BLUE」活動の進化 ※目標値は2009年からの累積面積 	 
		商品・サービスを通じた環境課題の啓発	1,000万人以上	2030	<ul style="list-style-type: none"> 雪肌精「SAVE the BLUE」活動の進化 各種事業を通じた環境保全、啓発 ロングセラー製品の育成による、間接資材の節減 	 
事業地域の環境保全	地域と共存共栄し、地域環境へ影響を与えうる生産拠点を中心に、環境保全に対する取り組みを行います。	地域環境保全活動	20件以上	2030	<ul style="list-style-type: none"> 南アルプス周辺など、関連会社も含む生産、研究拠点などを中心とした事業地域での環境保全活動 	  
地球へ 事業活動全体での環境負荷低減	CO ₂ 排出量の削減	SCOPE 1・2	▲28% (2018年比総量目標)	2030	<ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギーの利用 エネルギー効率のよい設備などの導入 	 
	CO ₂ 排出量の削減	SCOPE 3	2021年までに目標を設定	2021	<ul style="list-style-type: none"> 情報を整理し、2021年までに目標設定・具体的取り組み事例を設定 	
	プラスチック容器包装資材についてのサステナビリティに配慮した設計		100%	2030	<ul style="list-style-type: none"> 4R※に適合した容器包装資材の採用 ※Reduce/Reuse/Recycle/Renewable 2030年までにバイオマス/リサイクル樹脂の採用比率（樹脂量）を50%まで高める 	 
	責任ある水資源利用のための使用量削減		▲12% (2018年比、生産原単位)	2030	<ul style="list-style-type: none"> 水資源の3R※の推進など ※Reduce/Reuse/Recycle 	 
	環境保護を推進し、社会と共に発展すべく、持続可能なパーム油調達を実現します。	責任あるパーム油の調達	100%	2030	<ul style="list-style-type: none"> 認証パーム油の調達と使用 調達先との環境面での協働 	 

取り組みテーマとバリューチェーンへのインパクト

「コーセー サステナビリティ プラン」で定めた6つの取り組みテーマは、企画・研究・開発・原材料の調達から廃棄に至るまでの製品ライフサイクルとバリューチェーンすべてにおいて関わりがありますが、特に大きなインパクトを与えると考えられるバリューチェーンを特定しました。また、6つの遵守すべき項目は、バリューチェーンすべてに関連するものと考えています。

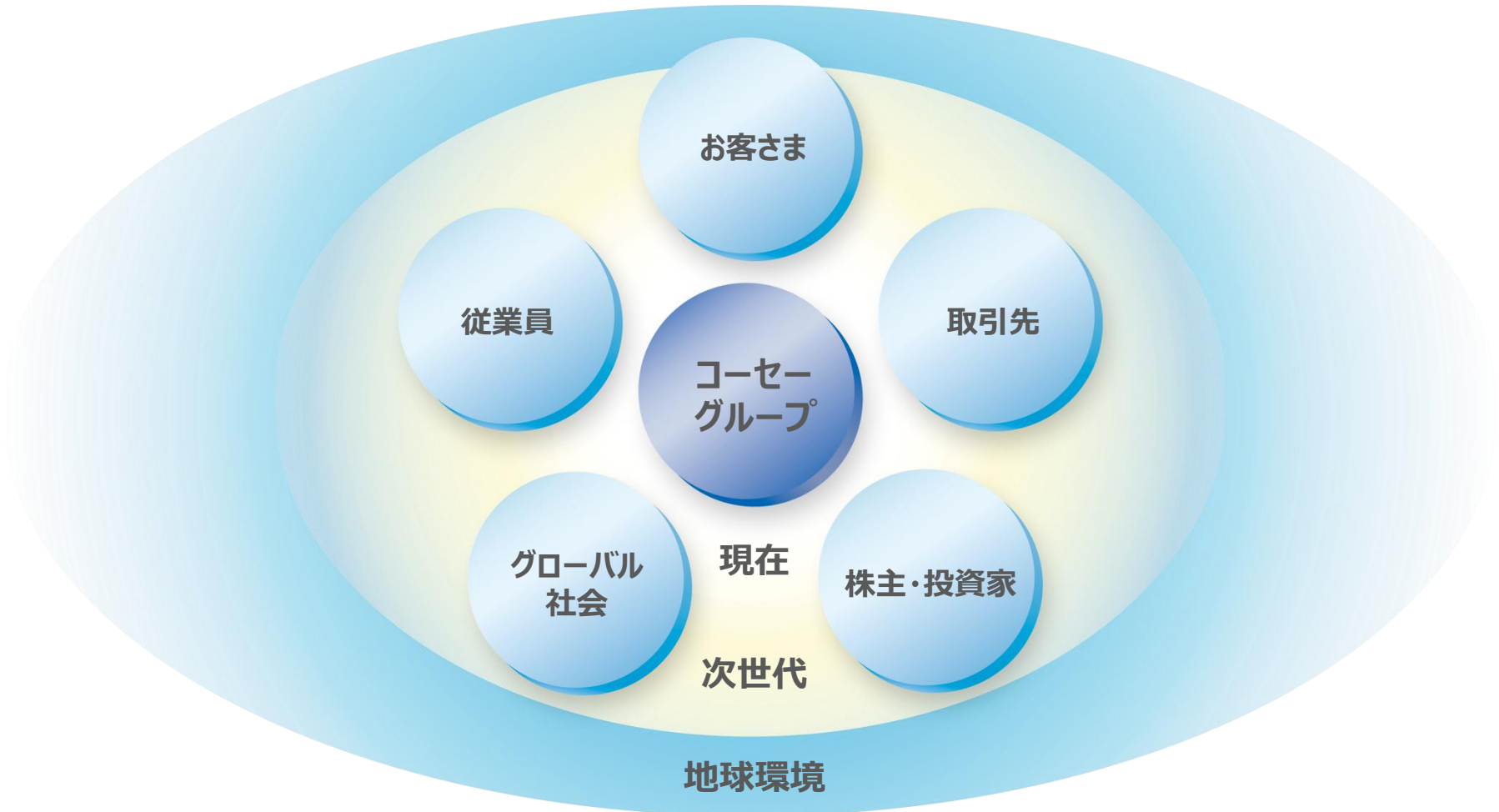
- 
1 アダプタブルな商品・サービスの提供
- 
2 美しく健康的で幸せな生活のサポート
- 
3 ジェンダーにとらわれず活躍できる社会への貢献
- 
4 ビューティを通じた環境課題への貢献
- 
5 事業地域の環境保全
- 
6 事業活動全体での環境負荷低減

※正と負、両方に影響を与えるテーマ



コーセーグループのステークホルダー

コーセーグループは、すべての活動において、次世代も含めたあらゆるステークホルダーとのつながりを大切にしています。また、企業活動のベースとなる地球環境も、重要なステークホルダーのひとつとして考えています。



ステークホルダーとのエンゲージメント

コーセーグループは、あらゆるステークホルダーとエンゲージメントを深める活動を行っています。ステークホルダーの皆さまからいただいたご意見や評価は、「コーセー サステナビリティ プラン」における取り組みや企業活動へ適切に反映させるよう努めています。

ステークホルダー	コミュニケーション	接触ポイント	頻度	内容
お客さま		お客様相談室	随時	電話・メール・手紙・チャットでのご意見対応／社内フィードバック機能の運営
		Maison KOSÉ (WEB/店舗)	随時	会社情報 事業内容の発信およびご意見対応
		自社運営各種SNSアカウント	随時	会社情報 事業内容の発信、コメント集約
取引先	販売店	各種会議体、イベント、セミナー など	随時	企業や事業方針の共有とご意見集約
	サプライヤー	購買方針説明会	年1回	責任ある調達のための情報共有・協働
		アンケート	年1回	
	直接個別対話 など	随時		
従業員 (リクルーターを含む)		経営協議会/労使検討会	年数回	協議・交渉、意見交換、相互理解
		従業員の相談窓口、社内通報システム	随時	秘密保持性のある救済措置システムの提供
		全従業員向け階層別研修 インターンシップセミナー など	年数回	企業や人材育成方針の共有と意見交換
グローバル社会	地域コミュニティ	各種ビューティセミナー 地域での協賛活動 など	随時	地域住民との交流 会社情報 事業内容の共有、理解促進
	多様なステークホルダー	業界団体への参加 NPO・NGO団体との対話 各種イニシアチブ等への参加 など	随時	社会課題の共通認識と社内PDCAサイクルへの活用
株主・投資家		株主総会	年1回	事業報告、連結計算書類、計算書類、監査結果の報告および決議事項の審議および決議
		決算説明会	年2回	決算概況、経営戦略、事業取り組みなどの情報発信
		投資家との個別対話・統合報告書・サステナビリティウェブサイトでの開示 など	随時	決算情報、経営戦略、事業内容などの説明、発信、情報開示